

JRによる駅舎等の更新について【情報提供】

用瀬地域振興未来会議
令和8年7月3日

1. 現状(背景)

JR西日本では、将来的な労働力不足や設備の老朽化などをふまえ、全てのエリアを対象として、駅舎の更新や設備の改修などを進めています。

更新対象とする駅や、時期、整備内容などは、JRが、利用実態や施設状態をふまえて判断しています。

※JR自ら資金調達(予算確保)して計画的に実施するもの

2. JR西日本からの情報提供

令和8年6月9日、JR西日本から、市に対して
「今後の駅運営体制の方向性」として、次のとおり示されました。



【提供された情報】

今後の人口減少とそれに伴う通勤通学需要減少や人手不足を見据え、全社的に駅の運営体制の見直しを実施(対象駅は右表)

対象駅	更新予定年※
因幡社駅	令和 9年
用瀬駅	令和10年

※実施予定年は、今後の検討状況等により変更となる場合があります。
(因幡社駅については、更新年確定)

3. 駅舎更新の内容等

更新内容は、**駅利用実績に応じて、JRの基準に沿って判断**されます。
(具体的な更新内容・設計等は、JRの予算確保に合わせて検討)

【備考】

更新する際、駅員が常駐していた事務室等など、**利用実態を考慮し
鉄道事業において余剰と判断される部分を削減**する方針

【駅利用実績】

駅名	乗降人員 (平成30年度)	乗降人員 (令和7年度)
因幡社駅	46人/日	34人/日
用瀬駅	184人/日	106人/日

4. 更新に対するJRの考え(市が確認した内容)

- ・更新に合わせ、地域の皆様に親しみを持ってご利用いただけるような工夫をしていきたい
- ・実現可能な内容(デザイン・動線など)についてご相談していきたい

5. 今後の動き

【JR】

- ・駅舎の更新は、JR西日本が経営判断として具体的なスケジュール等を設定し、市に対して更新案の説明があります。
- ・JRからの情報は、支所を通じて地域へ伝達します。《今回》



【地域・市】

- ・駅舎等の更新計画(設計段階)に、可能な限り地域の意見を反映してもらうようJRへ働きかけます。
(地域の意見や希望等を整理する。意見等をまとめる方法は要検討)

●意見集約の時期(目安)

因幡社駅…令和8年9月頃

用瀬駅…令和9年秋頃(JRと要調整)



【JR】

- ・地域の意見をふまえ、駅舎等のデザイン作成、設計の作業を進めます。
(JR予算の関係もあり、どこまで地域の意見を反映できるかは不明)

※その後は、適宜、JRから進捗等の情報提供を受けます。